

産業用スイッチに新たな新風、フラッシュ シルエット スイッチ CWシリーズ

2010年3月期の株主通信では、IDECグループが提供しているさまざまな「産業用スイッチ」のうち、①非常停止用押ボタンスイッチ、②イネーブルスイッチ、③安全スイッチといった特殊用途のスイッチについて、全3回にわたってその搭載事例をご紹介してきました。

4回目の今回は、極めて汎用的に使用される「押ボタンスイッチ」のうち、IDECグループが総力を挙げて新たに開発した、フラッシュシルエットスイッチCWシリーズの搭載事例をご紹介させていただきます。なお、IDECグループは、この押ボタンスイッチの分野において、国内シェア37%※1を有しています。

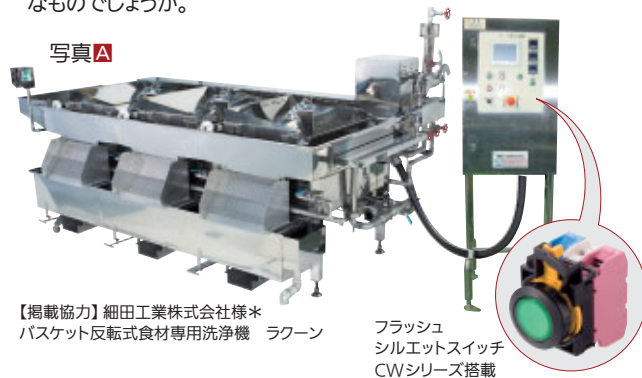
【表1】IDECグループが提供しているスイッチ（代表例）

	押ボタンスイッチ	セレクトスイッチ	鍵付セレクトスイッチ
汎用 スイッチ			
特殊用途 スイッチ	非常停止用 押ボタンスイッチ 	イネーブルスイッチ 	安全スイッチ

フラッシュシルエットスイッチ、CWシリーズ採用事例ご紹介

写真Aは、野菜・肉・海産物など、さまざまな食材を用途に応じて洗う食材専用の洗浄機ですが、この洗浄機の制御装置の盤面に、当社CWシリーズを採用いただいています。

さて、その採用の決め手となったCWシリーズの特長はどのようなものでしょうか。



CWシリーズは、スイッチ国内トップシェアであるIDECだからこそ提供できる技術とノウハウが結集されています。ここではその特長を2点、ご紹介しましょう。

安全性の追求から生まれた洗練されたデザイン

1 シャープで洗練されたデザイン、“クラス最短胴”※2を実現

CWシリーズは、a) ベゼルと呼ばれるスイッチ正面の縁の部分の高さが2.5mmの薄形デザインとなっています。これは、シャープで洗練されたイメージを演出すると同時に、パネル表面からの突出を少なくすることで、スイッチの突起に当たることによる不意の誤操作や事故の軽減に貢献しています。

また、パネル奥行きが39.9mmと、クラス最短胴を実現し、取り付ける装置やパネルの小形化に貢献しています。



2 第3世代※3の安全構造を実現しています。

産業現場は水や油などが飛び散る過酷な環境であり、時として作業者が持っている工具でスイッチを叩くことも想定されます。それでも10年以上の間、使用に耐え得る堅牢性と耐環境性が求められます。IDECグループは創業以来、安全設計思想を貫き、その安全性の高さにおいて、お客さまに高い評価をいただいています。

新たに発売したCWシリーズでは、上記b) コンタクトユニットの取り外しを当社独自の「押して」・「回す」という「2アクション」のロックレバー方式にすることにより、さらに高い安全性を実現しています。



今回、掲載にご協力いただいた細田工業様様では、スイッチ表面の凹凸が大きいと、万が一、機械操作時に作業者がぶつかってスイッチが破損した場合、破片等の異物混入の可能性が想定されること、またスイッチ自体にほこりやゴミが溜まり、衛生的でないことから、ベゼルが薄く、表面の凹凸が少ないという、CWシリーズの特長を高く評価いただきました。

※1: NECA（日本電気制御機器工業会）出荷統計における当社調べ（2009年度実績）

※2: 2009年10月時点当社調べ

※3: 第3世代のスイッチは、2アクションのロックレバー方式に加え、ロックレバーの誤解除や損傷を防ぐガード一体形を採用し、高い安全性を実現したスイッチです。

身近なところで活躍するスイッチ

これまで、産業用のスイッチを中心にいくつかご紹介してきましたが、実は、皆さまの身近なところでもIDECグループのスイッチは数多く活躍しています。

どんなに機械の性能が進化し、高度なシステムが実現しても、主役であるのは、機械やシステムを操作する「人」とであると、私たちは考えています。

だからこそ、機械を使う人の安全を守り、使う人にとってのやさしさをカタチにしたい。

それが、私たちIDECグループの変わらぬ願いです。

